

理学研究科 数学専攻 博士前期課程 履修モデル [2016年度以降入学者用]

■理論数理学分野（研究細目：代数学の例）

- 1年次：必修科目の「数理学講究1」、「数理学講究2」に加えて「代数学特論AⅠ」および「代数学特論AⅡ」（または「代数学特論BⅠ」および「代数学特論BⅡ」）を前期、後期続けて履修する。
さらに代数学の専門研究において参考となる授業科目、例えば「解析学特論AⅠ, AⅡ」、「解析学特論BⅠ, BⅡ」、「情報数理学特論AⅠ, AⅡ, BⅠ, BⅡ」から2科目履修する。
- 2年次：「数理学講究3」、「数理学講究4」、「論文指導演習Ⅰ」、「論文指導演習Ⅱ」以外に「代数学特論BⅠ」および「代数学特論BⅡ」（または「代数学特論AⅠ」および「代数学特論AⅡ」）を履修する。

■応用数理学分野（研究細目：情報科学の例）

- 1年次：必修科目の「数理学講究1」、「数理学講究2」に加えて、「情報数理学特論AⅠ」および「情報数理学特論AⅡ」（または、「情報数理学特論BⅠ」および「情報数理学特論BⅡ」、または「コンピュータ科学特論AⅠ」および「コンピュータ科学特論AⅡ」）を前期、後期続けて履修する。
データ処理などの基礎として、例えば「応用数理学特論AⅠ, AⅡ」「応用数理学特論BⅠ, BⅡ」や「解析学特論AⅠ, AⅡ」「解析学特論BⅠ, BⅡ」から2科目履修する。
- 2年次：「数理学講究3」、「数理学講究4」、「論文指導演習Ⅰ」、「論文指導演習Ⅱ」以外に「情報数理学特論BⅠ」および「情報数理学特論BⅡ」（または、「情報数理学特論AⅠ」および「情報数理学特論AⅡ」、または「コンピュータ科学特論AⅠ」および「コンピュータ科学特論AⅡ」）を履修する。